

大阪市立大学 工学部 都市学科  
大学院 工学研究科 都市系専攻 都市デザイン領域

准教授 吉田長裕 博士(工学) Assoc. Prof. Dr. Nagahiro Yoshida  
yoshida@urban.eng.osaka-cu.(ac.jp)



研究テーマ名：都市交通のグリーン化に関する研究

キーワード：都市交通計画、交通工学、交通まちづくり

高校生への一言：今後の都市交通において求められる安全、環境、健康といった社会問題との関係について研究しています。都市交通のグリーン化の中心は自転車交通です。都市交通政策の中で自転車のポテンシャルをどのように引き出せるかがポイントです。その実現のために利用者と利用環境（空間）との関係に着目して研究を行っています。

大学での担当科目：都市学演習 I（都市情報を対象とした統計解析手法の習得）、都市の計画学（都市交通を対象とした計画事例の紹介）、都市史（土木・交通の歴史的変遷）、交通環境工学（交通に起因する環境問題を工学的に捉え、改善するための方法論の習得）

大学院での担当科目：都市デザイン特論（世界における新たな都市デザイン事例）

所属学会：土木学会, 交通工学研究会, 国際交通安全学会, 日本都市計画学会, 交通科学研究会

## 1. 研究概要

最近の研究テーマの一つとして、自転車交通に着目しています。安全や環境、健康問題との関係を分析・評価したり、世界の自転車政策の動向について調査を行っています。海外調査では、自動車に過度に依存しない、目的やニーズに応じて安全で快適かつ環境にもやさしい交通社会を実現に向けた都市政策や交通施策の動向を調べています。具体的な研究方法の例として、自転車の交通行動を理解、把握するために、ビデオ観測により行動を量的に記述することで、ある特定の交通場面における行動と空間条件との関係を把握し、対策の立案等に活かします。例えば、交通事故の分析では、事故発生傾向を統計的に明らかにするために新たな分析手法を取り入れ、道路ネットワークの特徴との関係をみることで、どの場所にどのような対策が有効なのかを明らかにし、より効果的な安全対策の立案に役立てることができます。



図 自転車走行空間の視線特性の分析 写真 タンデム自転車の走行挙動の分析 写真 自転車走行時の心拍負荷計測

## 2. 高校生向けに提供可能な講演テーマの例

国内外における自転車交通政策の動向、自転車利用から考える都市交通問題、自転車事故の実態と交通安全対策